

---

# オマケ集

明日香

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
オマケ集

【Nコード】  
N7342M

【作者名】  
明日香

【あらすじ】  
今まで書いた小説のオマケです。

この前の海の日に書いた小説のオマケ

「芭蕉さん」

「ん？なに、曾良kオツファツっ！！！！！！」

「い、いきなり何で殴るの！？」

「この前、海の日があったじゃないですか。」

「？うん。」

「海の日ときに少々デレすぎたと思ったので・・・」

「ふえ？」

「今日はSデレでいきたいと思います（ニヤリ）」

「・・・・・・（^\_\_^）」

「ギャアアアアアア！！！！！！！！！！」

その後芭蕉さんの地獄の断罪タイムは一時間以上続いたらしい。

いらねえ・・・。

続いては『君との約束』のオマケ（という名の駄文）

「はい次の人！」

「えーと貴方は．．．！！！」

「どうかしました？大王。」

「見て！！鬼男君！！！」

「．．．．．！！．．．．．貴方．．．．．が．．．．．」

「あの．．．．．どうかしましたか？」

「．．．．．ううん。なんでもないよ。貴方は天国だよ、

小野妹子さん　　。  
「

「ありがとうございます。」

「大切な人が、待ってるよ？」

「……言われなくてもわかっていきますよ。」

「ふう〜、四つ葉、結構集まったなあ〜。」

「妹子、喜んでくれるかな。」

「なにやってるんですか。アホ太子。」

「え．．．．．。や、やだなあ〜妹子のこと考えすぎてついに幻聴



が・・・。」

「太子、久しぶりです。」

「本当に・・・妹子・・・なのか？」

「はい。」

「振り向いたら居なくなったりしないよな!？」

「勝手にいなくなるのはいつも貴方でしょう?僕は・・・貴方のそばにずっといます。約束した通り。」

「いも・・・」

振り向けば私があげた赤ジャージを着て呆れたように私を見ている妹子がいた。

「妹子っっ！！！！！！！！」

思い切り抱きつき、妹子を確かめる。

久しぶりの妹子の声。

久しぶりの妹子の香り。

すべてが愛しかった。

「妹子!!」

「太子」

お互いの名前を呼び、確かめるようにキスをした。

これからはずっと

君の隣に  
。

「よかったね、太子。」

天国は幸せに満ちあふれていた。

（後書き）

ぶっちゃんけオマケとかいらなくね？

なんかすみませんでした・・・。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7342m/>

---

オマケ集

2010年10月12日02時58分発行